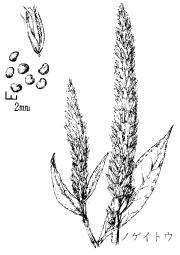


生薬解説 211 せー6

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
せー6	せいそうし 青箱子	苦・微寒 肝	3～15g、煎服。
中医生薬解説			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  <p style="text-align: center;">ノゲイトウの成熟種子</p> </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>清肝明目・退翳 肝火上炎による目の充血、腫脹、疼痛や角膜混濁(目生翳膜)、視力低下、あるいは頭痛、めまいなどの症候に、決明子・菊花・密蒙花などと用いる。</p> </div> </div>			
<p>参考 青箱子・決明子は清肝明目の効能を持ち、よく配合して用いられる。 決明子は甘苦鹹寒で疏散風熱兼益腎に働くのに対し、青箱子は苦寒で沈降し、清熱瀉火のみに働く。</p>			
<p>使用上の注意 清熱の力が強く、瞳孔散大の作用があるので、虚による眼疾や瞳孔が散大しているときには禁忌である。</p>			